

LOCKABLE CASE

Publication number: JP5501815 (T)

Publication date: 1993-04-08

Inventor(s):

Applicant(s):

Classification:


- international: **A45C5/02; A45C13/10; A45C13/18; E05B55/08; E05B65/52; G08C15/00; A45C5/00; A45C13/00; A45C13/10; E05B55/00; E05B65/00; G08C15/00; (IPC1-7): A45C5/02; A45C13/10; A45C13/18; E05B55/08; E05B65/52; G08C15/00**


- European: **A45C13/10; E05B65/52**


Application number: JP19900512010 19900831


Priority number(s): DE19893929122 19890901


Also published as:

 **WO9103186 (A1)**

 **EP0489793 (A1)**

 **AU6280490 (A)**

 **DE3929122 (A1)**

 **CA2065255 (A1)**

Abstract not available for **JP 5501815 (T)**

Data supplied from the **esp@cenet** database — Worldwide

⑤ 日本国特許庁(JP)

⑩ 特許出願公表

⑥ 公表特許公報(A)

平5-501815

⑨ 公表 平成5年(1993)4月8日

④ Int. Cl. ¹	識別記号	庁内整理番号	審査請求 未請求 予備審査請求 有	部門(区分) 1(2)
A 45 C 13/18 5/02 13/10	Z	2119-3B 2119-3B 2119-3B		
E 05 B 55/08 65/52	B	0130-2E 8404-2E		
I G 08 C 15/00	Z	6984-2F		

(全 3 頁)

⑦ 発明の名称 施錠可能なスーフケース

⑧ 特 願 平2-512010

⑨ 出 願 平2(1990)8月31日

⑪ 優先文提出日 平4(1992)2月28日

⑫ 国際出願 PCT/EP90/01465

⑬ 国際公開番号 WO91/03186

⑭ 国際公開日 平3(1991)3月21日

優先権主張 ⑮ 1989年9月1日 ⑯ ドイツ(DE) ⑰ P3929122.7

⑱ 発 明 者 モルゲンロフト・ゲルハルト, ドイツ連邦共和国、ミュンヘン40、8000、テングストラーセン24
 ⑲ 出 願 人 モルゲンロフト・ゲルハルト, ドイツ連邦共和国、ミュンヘン40、8000、テングストラーセン24
 ⑳ 代 理 人 弁理士 今岡 友夫
 ㉑ 指 定 国 A T (広域特許), A U, B E (広域特許), C A, C H (広域特許), D E (広域特許), D K (広域特許), E S (広域特許), F R (広域特許), G B (広域特許), I T (広域特許), J P, K R, L U (広域特許), N L (広域特許), S E (広域特許), U S

3 要 求 の 範 囲

1. 図1に示された半部12, 14 を適当な位置関係によって施錠可能な設けたスーフケース10において、トロッコ機構の作用を適当な位置関係にあるようにしたことを特徴とするスーフケース。

2. 上記施錠機構の作用を適当な位置関係によって行うことを特徴とする、請求項1に記載されたスーフケース。

3. 上記施錠機構を、外側施錠機構により行うことを特徴とした、請求項1又は2に記載されたスーフケース。

4. 上記施錠機構を、内部に設けられる機構としたことを特徴とした、上記施錠機構を有する請求項1に記載されたスーフケース。

5. 上記施錠機構を、スプリング機構としたことを特徴とした、上記施錠機構を有する請求項1に記載されたスーフケース。

4 発 明 の 説 明

施錠可能なスーフケース

図1に示された半部12, 14 を適当な位置関係によって施錠可能な設けたスーフケース10が、例えば、旅行用ケース又はアタッシュケースとして広く使用されている。

この種のスーフケースは、他者のない他人によって勝手に開けられることがないように、通常一つ又はそれ以上の安全装置によって保護されている。該安全装置として、例えば、鍵で施錠するもの、又はある数字の組み合わせを調整ダイヤルでセットすることで施錠するいわゆる組合せ錠式のものがある。

しかし上記のスーフケースは、多少の事情をかんがへれば、他者として他人が開けることが可能なものである。何故なら、その鍵は、鍵又は調整ダイヤルのいずれかで施錠されるが、スーフケースのどこに鍵があるかを他人に正確に知られていない、その場所にも適当な道具を巧みに使えば、スーフケースを開くことが可能だからである。次に組合せ錠式調整ダイヤルは、全体としての機械的強度に弱点を及ぼす。又上記組合せ錠式調整ダイヤルは、上記組み合わせをセットすることは原則であると共に、ある程度の時間を要する。更にスーフケースを開けた状態で、調整ダイヤルの設定を不注意又は故意により変えた後、正しい設定を覚えてしまふことが、しばしば生じ、このような場合、再び施錠可能な状態にするまでにはかなりの手間がかかる。

本発明が解決すべき問題は、他人により簡単にスーフケースが開けられることを防止し、併せて、上述の問題を克服してスーフケース全体の機械的強度を高めることにある。

本発明は、本発明によれば、図1に示された半部12, 14 を適当な位置関係によって施錠することによって解決される。

そうすれば、他者のない他人は、スーフケースの二つの半部12, 14 が設けられた部分及び半部12, 14 が設けられた部分の位置を、外側から認識できない。次に鍵又は